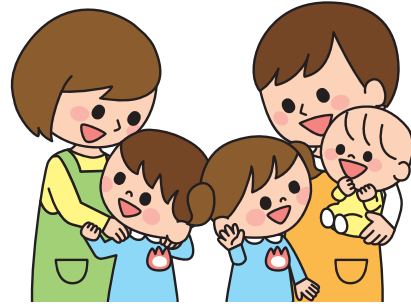


第2次市立認定こども園配置計画を策定

質の高い幼児教育・保育の 継続を目指す

市は、保育需要の増加や公立幼稚園の定員割れなど、就学前教育・保育をめぐる課題を解決し、子どもへの等しい教育や保護者の就労形態に関わらない保育の提供を行うため、施設の整理・集約や認定こども園化などに取り組んでいます。今号では7月に策定した第2次市立認定こども園配置計画の3つの取り組みについてお知らせします。

問合せ先…保育幼稚園事業課 (☎ 674・7692)



実施内容

① 富田保育所・幼稚園 民営の認定こども園へ

建物の耐震に課題がある富田保育所を、富田幼稚園と統合し、民営の認定こども園として整備します。地域における保育所、幼稚園の運営実績を考慮して事業者を選定することを検討し、民間のノウハウを生かしながら運営を行います。



富田保育所

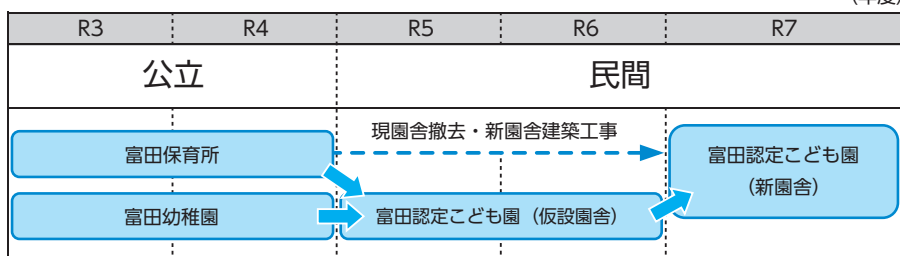


富田幼稚園

園舎の建て替えを予定

富田幼稚園の敷地内に仮設園舎を増築し、令和5年度から認定こども園として民営化します。令和7年度には現富田保育所の園舎の建て替えを完了し、同こども園の新園舎とします(下図)。

富田保育所・幼稚園 認定こども園化スケジュール予定



② 3歳の卒園児 公立施設が受け皿に

令和4年度から公立認定こども園・保育所の各施設は、地域型保育事業所を卒園する3歳児の受け皿としての役割を担い、優先的な受け入れを行います。また、地域型保育事業所を対象とする研修などを積極的に実施し、保育の質の向上などの連携を図ります。

③ 認定こども園 区域特性に応じて配置

市内を6つに割った地域ごとに、核となる認定こども園を1カ所ずつ設置し、区域の特性などに応じて必要となる数の施設を配置します。